

# R5年度 オーダーメイド型研修

## 【概要】

区分	概要	
実施主体	市町（避難支援等関係者、要配慮者等からの要望を踏まえて）	
研修対象者	市町職員、地域住民（避難支援等関係者、要配慮者等）等	
研修例 ※あくまでパターン例なので、これ以外の内容も可	個別避難計画作成ワークショップ <sup>°</sup>	自主防等で計画作成のワークショップ <sup>°</sup> 等を実施
	地区防災計画作成ワークショップ <sup>°</sup>	地区防災計画作成を通じた要配慮者支援の取組
	要配慮者避難訓練等	要配慮者との避難訓練、福祉避難所開設運営訓練
	ハザードマップ <sup>°</sup> 確認まち歩き	ハザードマップ <sup>°</sup> をもとにまち歩きしハザード <sup>°</sup> を皆で確認
	自助・共助普及啓発イベント	地域住民に自助・共助意識を啓発するイベントを実施



## 【申請・実施のフロー、市町・県の主な役割分担】



区分	内容企画	講師・ファシリテーター等 (選定・依頼・調整)	会場・資料・物品 (選定・予約・準備)	参加者 (募集・受付)	司会 ファシリテーション	契約 支払
市町	○	○	○	○	○	
県	△	△			△	○

## 【主なポイント】

- やりたい研修が可能。
- 内容・講師等について県から助言等あり。
- 費用は原則県負担（予算内）。

⇒詳細は次ページ

# R5年度 オーダーメイド型研修

## 【主なポイント】

- 1 趣旨** 地域の自発的・主体的な研修を通じて、個別避難計画作成促進を念頭に置いた要配慮者支援を図る。
- 2 実施主体** 市町・県の共同実施
- 3 対象研修** 市町が自発的・主体的に企画する、個別避難計画作成促進を念頭に置いた要配慮者支援研修。
- 4 留意点・補足事項**
  - ・ 「要配慮者支援」を目的とした研修であれば、いきなり個別避難計画の作成を目的にした研修である必要はありません（極力幅広に対象にしようと考えております）。
  - ・ すでに、研修内容も講師等も決まっている場合でも、利用できます（つまり、県の費用負担だけの利用も可）。
  - ・ 研修内容はある程度決まっても、講師やファシリテーターのあてがない場合、候補者の紹介をいたします。
  - ・ 研修の内容や講師について、おおまかにしか案がなくても、助言させていただきます。ご相談ください。
  - ・ 研修対象者はもちろん地域住民を想定してますが、福祉専門職や福祉事業者等の関係者も含みます。
  - ・ 原則経費は県負担（市町職員や参加者の交通費等、一部例外あり）。県予算内。謝金等は基準あり。
  - ・ 従って、基本的に、市町での予算措置は必要ありません。
  - ・ 原則1市町あたり年1回限りですが、予算に余裕があれば2回以上の実施を承認する場合もあり。
  - ・ 複数市町による共同実施も可。申請手続き等は別途協議。
  - ・ 市町助成と対象経費が重複しなければ併用可（助成とオーダーメイド型研修双方で研修実施可）。